

都スポ指協ニュース



発行元：

東京都スポーツ指導者協議会

〒201-0012

狛江市中和泉 3-29-17-203 山田龍彦宅

Tel:090-3134-0132

E-mail: info@tokyo-sports-leader.com

URL: https://tokyo-sprts-leader.com

東京都スポーツ指導者協議会

会長 山田 龍彦



昨年 4 月 1 日からリスタートを切りました東京都スポーツ指導者協議会ですが 2021 年 9 月に研修会、2022 年 5 月には勉強会を開催することができました。

今後進める、活動について記載します。

1. 部活動支援プロジェクトプログラムへの取り組み

2018 年 3 月スポーツ庁は運動部活動のあり方に関するガイドラインを以下のように示しました。

- ① 適切な運営のための体制整備
- ② 合理的かつ効果的な活動推進の取り組み
- ③ 適切な休養

④ 生徒のニーズに合ったスポーツ環境の整備

⑤ 学校単位での大会参加の見直し。

以上の 5 つの項目の提言を行いました。このガイドラインは具体的休養日の設定についても言及しています。

- ① 平日週一回の休み、土、日いずれか一回の休み
活動時間平日 2 時間
土、日の活動時間(以下「週末」という)は 1 日以上を休養日とする。平日の活動時間 2 時間程度
土、日のいずれかの活動時間 3 時間程度とする。
- ② 連続休暇のときの部活動休養日(オフシーズン)の設定 長期休業中(夏休み等)学期中に準じた扱いを行う。
- ③ 顧問は活動計画を作成するホームページ等で公表すること。(以下略)

こうしたスポーツ庁の運動部活動のあり方に関するガイドラインを受けて東京都スポーツ指

導者協議会が取り組むべきことを以下に記載します。

- ① 練習時間にあたってはガイドラインを守る
- ② 指導者は公認指導員ライセンス取得した者とする
- ③ 積極的に大会に参加させる(あることを伝える)
- ④ 学校職員・保護者との連携を取る
- ⑤ 顧問との練習計画の打ち合わせ
- ⑥ 保護者への年間練習計画書提出(スキルにあった、個々の性格に合った計画)
- ⑦ 雨天時のトレーニングとミーティング(屋外スポーツの場合)
- ⑧ 部員連絡網の作成
- ⑨ 基本理論の習得を最終目標とする
- ⑩ 安全、障害予防に関する知識・技能の指導・事故が発生した場合の現場対応

以上の 10 個のプログラムに沿った組織作りをスタートさせて行く中でプロジェクトを見直

(PDCA) していくことが必要です。部活動の支援プログラムを行うことにより今までより生徒達が学校の部活動に参加することで輝ける場所に出会えるかもしれません。そのためには部活動支援の指導者が学校の顧問の先生と保護者、地域の教育委員会、中体連、高体連、私学連盟が連携を取って対処すべきと考えます。

また日本スポーツ協会公認指導者協議会ライセンスを持っている方で部活動支援に協力していただける人をまとめる組織（種目別と活動地域、対象者等）を作る必要があります。その組織を東京都スポーツ指導者協議会が作って推進して行くのです。まずは、東京都に所属している方にメールを送り返事をもらうことから始めます。

2. 総合型地域スポーツクラブへの公認スポーツ指導員のアシスト

今、なぜ総合型地域スポーツクラブへ移行を考えているのでしょうか。地方では活動施設が確保しやすく学校施設を利用可能な状態が整っていると言えます。しかし地域により環境が変わり、組織形態や年齢と会員数はさまざまです。公認コーチが総合型地域スポーツクラブの存在を知らない人が意外に

多いということです。すなわち総合型地域スポーツクラブには携わっていない人がほとんどです。東京都で公認スポーツ指導者は約2万人います。その中で総合型地域スポーツクラブに関わっている人が何人いるでしょうか。当協議会が取り組むべきスタートは部活動の外部指導員希望者を組織化することです。そして理想は日本スポーツ協会の公認指導者の規約にある47都道府県のスポーツ指導者協議会に加入して自分の出来るボランティア活動を見つけ地域に貢献する所から始めたらいかがでしょうか。

東京都は複雑です。公立学校だけではなく私立も在ることも忘れてはいけません。公立・私立とも包括的な組織づくりが要求されるでしょう。

スポーツクラブ・部活動に入る目的は一流プレイヤーを目指す人もいれば、友達が入ったから、親が勧めたから、やったことがないからと入ったとクラブ・部活動の構成員の動機は多様であります。さらに男女、体力などと多様性の集団である部活動には、その認識を携えた公認の指導者の貴方が必要です。スピードをもって組織を作り効率良く動くことで、部活動を取り巻く変化、教員の働き方改革

等の環境の変化に対応できると考えます。東京都スポーツ指導者協議会はこの二つの問題を会の目標に追加し動き始めています。せっかく取得した資格ですから有効に活用しませんか。中央教育審議会の「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」では部活動について「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」と位置づけられ、2017年4月から「部活動指導員」の単独顧問や単独での指導・引率も認められることとなりました。貴方が持っている資格を地域の子供達と一緒に本物にしていきましょう。このことは千載一遇の機会です。4年に一度の更新(義務)研修だけで本当に良いのでしょうか。指導者は一生勉強することです、子供達の成長があなたの成長でもあるのですから。

公認スポーツ指導者の皆さん一緒に勉強、交流していきませんか東京都スポーツ指導者協議会は貴方の入会を待っています。

青藍

2021年度 事業実施報告**1. 第1回指導者勉強会**

2021年6月19日にオンラインによる指導者勉強会を開催しました。講師はJSP0 コーチディベロッパーの手島 貴範氏でリフレーミングによるポジティブな会話術を学びました。

はじめてのオンラインによる初めての勉強会でしたがグループでのディスカッションや各グループでの発表する機会もありました。相手を否定せずに、より前向きな関係性を構築して円滑なコミュニケーションを実践するためのリフレーミングの技術によるポジティブな会話術を練習することが出来ました。

2. 東京都スポーツ指導者研修会

2021年9月12日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて東京都スポーツ指導者研修会を開催しました。公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者資格の有効期限は、4年間と定められており、資格を更新するためには有効期限が切れる6か月前までに、更新のための研修を受けることが義務付けられています。今回の研修会は、単に資格を更新するためだけのものではなく、指導者がスポーツに関する最新の知識・情報を獲得し、国民のスポ

ーツに対するニーズを敏感に捉えて、実際の指導場面に活用できるようにその資質を向上させるとともに、指導者の情報交換やネットワークづくりなど、相互の交流を目的として開催しました。

講習会のテーマは「スポーツ指導者のための”こころ”と”からだ”の脳科学・暴力と体罰をなくすために」です。山口和彦先生（国立精神・神経センター客員研究員）による講演「スポーツ指導者のための”こころ”と”からだ”の脳科学」と山田 龍彦（東京都スポーツ指導者協議会会長）による講演「暴力と体罰をなくすために」の2部の講義を60名の参加者が聴講しました。新型コロナウイルス感染症対策として座席間に間隔を設けると共に指定席とし、講師の前にはアクリル板を設置し、定期的な換気と参加への検温と手指消毒の協力をお願いした上での開催となりました。

3. 第2回指導者勉強会

2021年度の勉強会は2022年2月26日開催の予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期を決定しましたが2022年4月23日に13時30分から国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催しました。

講師の東京都中央区地域スポーツクラブ大江戸日本橋・京橋通称 Maple クラブマネジャーの中多 宏之氏からは「東京都中央区における新たな地域スポーツクラブ設立について」の講演があり、地域スポーツの在り方について参加者で協議を進めることが出来ました。

当協議会広報担当理事の市毛彰から、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化と国際交流」の講演があり、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化の実施例とともに部活動における指導者環境の課題について問題提起がありました。



その後、会員の皆様の交流会として「今後の部活(外部)指導員による部活動のあり方」をディスカッションして頂きました。2グループに分かれ、異なる競技の指導者が顔を交え話し合っていたいただき、様々な課題と対応、対策をまとめて頂きました。普段は一匹狼で指導にあたっている人が多いことでしょう。違う競技、違う環境で指導者は毎日戦っています。指導者

同士の意見を交えることはなかなかありません。話し合うことで、気がかりな問題や悩みを共有し、貴方と一緒に解決、サポートして行くことが当協議会の使命でもあります。

4. 理事による定例打ち合わせ

2021年4月13日・5月11日・6月7日・7月6日・8月10日・9月7日・10月14日・11月8日・12月9日、2022年1月14日・1月31日、3月9日合計12回の打ち合わせをリモートにて実施しました。コロナ禍のため対面での打ち合わせからリモートによる打ち合わせ方法に変更しました。

2022年度事業計画

1. 基本方針

東京都スポーツ指導者協議会（以下、「本会」）は公益財団法人日本体育協会 公認スポーツ指導者の相互の連携と自らの資質の向上を図るとともに（公財）東京都体育協会の事業に協力し、東京のスポーツ活動の指導、育成を通じ、広く東京都民のスポーツ振興に寄与しつつも、

- ① 部活動支援プロジェクトプログラムへの取り組み
- ② 総合型地域スポーツクラブへの公認スポーツ指導員のアシスト

を積極的に進めます。

2. スポーツ指導者の研修並びに資質の向上に関する事業

（財）東京都体育協会のスポーツ指導者研修補助事業として公認更新研修として1日研修会を下記の通り実施します。

【東京都スポーツ指導者協議会 主催研修会】

2022年7月30日（土）13:00～17:00

テーマは開催要項に記載しました。

国立オリンピック記念青少年センター研修棟センター棟 311

参加人数 80名

参加料 会員 1,000円

非会員 3,000円

申込みは①②③のいずれかで申込下さい。

① 当協議会ホームページから申込

<https://tokyo-sports-leader.com> を開き新着情報→研修会の申込から申し込む

② 申込 URL から申し込む

<https://forms.gle/LhuTzW6qBZrE6KHT6>



※QRコードからの申し込みが可能です。

③ ハガキによる申込み

以下の情報を記入し申し込む
 イ:氏名(フリガナ) ロ:JSPO登録番号 ハ:競技種目 ニ:資格 ホ:西暦生年月日 ヘ:郵便番号 ト:住所 チ:自宅電話番号 リ:携帯電話番号 ス:E-mail ル:当協議会の会員・非会員 を記入して以下の郵送先に送る。

【郵送先】 〒201-0012

東京都狛江市市中和泉 3-29-17-203 山田方
 東京都スポーツ指導者協議会研修会受付係

【締切 7月16日（土）お早目に申し込み下さい】

※申し込みをされた方は2022年7月16日（土）までに参加料（会員1,000円、非会員3,000円）を以下の①②③のいずれかの指定口座に振り込みをして下さい。

① ゆうちょ銀行窓口

振替書（青色）で納入して下さい
 郵便振替口座番号:00100-7-262250

加入者名:東京都スポーツ指導者協議会

② ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキョウ）店

当座預金口座番号:262250

口座名:東京都スポーツ指導者協議会

③ みずほ銀行

渋谷支店

普通預金

口座番号:1175793

口座名:東京都スポーツ指導者協議会

お振込み後の変更・欠席等は、いかなる場合でも返金はできませんのでご了承ください。

受講票を郵送で参加申し込み者に送ります。

問合せは東京都スポーツ指導者協議会 担当 藤岡（090-2548-4576）まで連絡下さい。

3. スポーツ指導者の育成方策並びに指導方法の研究に関する事業

指導者研修会の講師を育成し指導方法の研究に関する事業と

して勉強会を実施する。また、会員にとって魅力のある勉強会を目指す為にアンケートを実施し、会員のニーズを把握する。

期日下期、場所未定で会員は無料です。指導の資質向上にお役立て下さい。

東京都スポーツ指導者協議会 の新ロゴマーク



協議会のロゴマークを新しく作成しました。新ロゴマークに込めた気持ちを以下に記します。

「青は藍より出でて藍より青し」…「藍」とは、染料に使う藍草のことで、藍草で染めた布は藍草よりも鮮やかな青色となる。その関係を弟子と師匠にたとえて、弟子が師匠の技を越えるという意のことで、学問や努力、により持って生まれた資質を越えるということです。導き方一つでいつか指導者を越えて、技術的にも人間的にも、より良き 社会人に育てあげることが、指導者として本望なことです。武道の「守・破・離」を極めても恩師は、決して忘れない人となることでしょう。青色は冷静さを現し、指導者として

持つべき資質です。藍（薄い青）は、若い指導者もいつか経験を積みあげ、恩師の心に到達したいという思いを、人が向き合い互いに礼を尽くす姿を、色と形で表現しています。また自然色に見たて、大海の群青と、丘を駆け上がり、その先に見える空、その上には、未来がある。協議会もそうであって欲しいとロゴマークに願いをこめました。

青藍

東京都スポーツ指導者協議会 ホームページ

新ホームページの URL は以下の通りです。



<https://tokyo-sports-leader.com>

運営体制の見直しとともに会員証についても一新しました。今後講習会等への参加時には会員証を持参下さい。

これまでの協議会の連絡は資料の郵送と電話での連絡をしてきましたが、情報通信技術の進歩にあわせ協議会も今後はホームページでの情報共有とし連絡はメールでの連絡を基本とさせていただきます。

2022 年度会費納入のお願い

2022 年度会費 2000 円未納の方、納入をお願いいたします。

振替の銀行と口座番号は、下記の 3 つの中から選び振込んでください

1. ゆうちょ銀行窓口振替（青色）で納入して下さい
郵便振替口座番号:00100-7-262250
加入者名:東京都スポーツ指導者協議会
2. ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュウ)店
口座番号:262250
口座名:東京都スポーツ指導者協議会
3. みずほ銀行
みずほ銀行 渋谷支店普通預金 口座番号:1175793
口座名:東京都スポーツ指導者協議会

※行き違いに納入頂いた会員様にはお詫び申し上げます

※年会費はゆうちょ銀行による自動引落としが、原則となっています。ご希望の方は東京都スポーツ指導者協議会の E-mail にてお問い合わせください

2021 年度会計監査

2022 年 4 月 20 日 狛江市体育館会議室にて 2021 年度会計監査を実施しました。

監査結果報告と 2022 年度予算を掲載します。

2021年度決算報告

2021/4/1～2022/3/31 [単位:円]

【収入の部】	予算額	決算額	増△減	備 考
1 会費収入	500,000	413,000	△ 87,000	会費205名・2000円入会1名1000円 R4年分1名2000円
2 事業収入	160,000	137,500	△ 22,500	①+②+③
① 研修会費	75,000	52,500	△ 22,500	
② 研修助成金	85,000	85,000	0	(公財)東京都体育協会助成金
③ スポーツリーダー養成	0	0	0	スポーツリーダー養成講習会研究
3 広告料	30,000	0	△ 30,000	スポーツ安全協会
4 賛助会費	0	30,000	30,000	1口30,000円
5 雑収入	0	0	0	①+②
① 雑収入	0	0	0	預金利息・雑収入
② その他	0	0	0	寄付
当期収入合計	690,000	580,500	△ 109,500	1+2+3+4+5
前期繰越金	20,000	34,687	14,687	
収入合計	710,000	615,187	△ 94,813	

【支出の部】

2021/4/1～2022/3/31

科 目	予算額	決算額	増△減	備 考
1 研修事業費	285,000	242,437	△ 42,563	研修会 勉強会
2 広報発行費	60,000	0	△ 60,000	
3 運営費	365,000	281,933	△ 83,067	①+②+③+④
① 会議費	70,000	67,471	△ 2,529	上部団体会議、理事会、
② 事務費	235,000	209,566	△ 25,434	
業務委託	90,000	92,420	2,420	ホームページ作成
消耗品費	20,000	28,050	8,050	事務用品
印刷費	35,000	4,797	△ 30,203	封筒、会員証等
通信費	90,000	84,299	△ 5,701	電話料、切手、ハガキ
③ 一般諸費	40,000	0	△ 40,000	
広告渉外費	20,000	0	△ 20,000	
交際費・慶弔費	20,000	0	△ 20,000	
積立金	0	0	0	関東ブロック会議
④ 旅費交通費	20,000	4,896	△ 15,104	
4 雑費	0	0	0	
5 予備費	0	0	0	
当期支出	710,000	524,370	△ 185,630	1+2+3+4+5
次期繰越金	0	90,817	90,817	
支出合計	710,000	615,187	△ 94,813	

会計担当 小柳津 敏子 

同 上 井野 美枝子 

監査の結果上記の通り相違ありません。
2022年 4月20日 監 査 秋元 恵司 

2022年度予算

2022/4/1～2023/3/31 [単位:円]

【収入の部】	予算額	決算額	増△減	備 考
1 会費収入	430,000	500,000	△ 70,000	
2 事業収入	205,000	160,000	45,000	①+②
① 研修会費	120,000	75,000	45,000	
② 研修助成金	85,000	85,000	0	(公財)東京都体育協会助成金
③ スポーツリーダー養成	0	30,000	△ 30,000	スポーツ安全協会
3 広告料	30,000	0	30,000	1口30,000円(応援団費)
4 賛助会費	0	0	0	①+②
5 雑収入	0	0	0	預金利息・雑収入
① 雑収入	0	0	0	寄付
② その他	665,000	690,000	△ 25,000	1+2+3+4+5
当期収入合計	90,817	20,000	70,817	
前期繰越金	755,817	710,000	45,817	
収入合計	846,634	730,000	△ 116,634	

【支出の部】

2022/4/1～2023/3/31

科 目	予算額	決算額	増△減	備 考
1 研修事業費	260,000	285,000	△ 25,000	研修会 勉強会
2 広報発行費	60,000	60,000	0	
3 運営費	405,817	365,000	40,817	①+②+③+④
① 会議費	90,000	70,000	20,000	上部団体会議、理事会、
② 事務費	225,817	235,000	△ 9,183	
業務委託	60,000	90,000	△ 30,000	HP修正 事務委託
消耗品費	20,000	20,000	0	事務用品
印刷費	55,817	35,000	20,817	宛名ラベル 会員証 レジメ等
通信費	90,000	90,000	0	電話料、切手、ハガキ
③ 一般諸費	50,000	40,000	10,000	
広告渉外費	20,000	20,000	0	
交際費・慶弔費	20,000	20,000	0	
関東ブロック年会費	10,000	0	10,000	関東ブロック会議東京主催
積立金	0	0	0	
④ 旅費交通費	40,000	20,000	20,000	
4 雑費	0	0	0	
5 予備費	0	0	0	
当期支出	725,817	710,000	15,817	1+2+3+4+5
次期繰越金	30,000	0	30,000	
支出合計	755,817	710,000	45,817	



- 【東京スポーツ指導者協議会会員心得】
1. 本会並びに関係団体が実施する事業へ参加の際は本証を提示する
 2. 本証は年会費納入の証とし会員登録がされている
 3. 本証の有効は本年度限りとする
 4. 本証は大切に保管してください(再発行負担金 300円)
 5. 年会費は毎年4月8日までに納入してください
- 【行事・勉強会・研修会の参加印】

①	②	③	④
---	---	---	---